

「職務の級及び号給決定計算書」の記入例

(様式3)

民間会社等の場合、会社の形態、採用形態、
 週当たりの勤務日数、一日当たりの勤務時間数
 及び職務内容を記入する。

勤務歴がある場合、社会保険加入の
 有無に必ず○を付ける。

管内 ()		職務の級及び号給決定計算書				令和	年	月	日	採用	区分 (人事担当課が○で囲む)	正規・任期付 ()	・臨時的
採用学校	在職期間とずれが生じないように、入学、卒業年を正しく記入する。			任用職名	※フガサ ※氏名	フガシマ ハナコ 福島 花子	※性別	女	※生年月日	昭和	平成	4年11月21日	
※卒業学校名	※在学期間	※修学年数	※卒業修了 中退の別	※勤務箇所及び職務内容等		※社会保 険加入の 有無	※在職期間		年数	換算率			
郡山市立安積第一小学校	自 H11・4・1 至 H17・3・31	6・0	卒・修・退	無職 予備校在学)		有 無	自 H23・4・1 至 H24・3・31	.	.	.			
郡山市立安積中学校	自 H17・4・1 至 H20・3・31	3・0	卒・修・退	郡山商事(有)、正規採用、週5日、1日8時間勤務、職務内容(事務)		有 無	自 H28・4・1 至 R1・5・31	.	.	.			
福島県立安積高等学校	自 H20・4・1 至 H23・3・31	3・0	卒・修・退	全日本進学塾(個人)、臨時採用、週3日、1日5時間勤務、職務内容(講師)		有 無	自 R1・6・1 至 R2・3・31	.	.	.			
福島大学 人間発達文化学類	自 H24・4・1 至 H28・3・31	4・0	卒・修・退	〇〇県立〇〇高等学校、非常勤講師(月手当)(初任研)、週当たり4日勤務、授業担当時間数18時間		有 無	自 R2・4・1 至 R3・3・30	.	.	.			
	自 至	.	卒・修・退	無職		有 無	自 R3・3・31 至 R3・3・31	.	.	省略可の無職期間			
				〇〇県立〇〇高等学校、時間講師(初任研)、週当たり4日勤務、週当たり18時間勤務、授業担当時間数14時間		有 無	自 R3・4・1 至 R4・3・30	.	.	.			
				無職		有 無	自 R4・3・31 至 R6・9・30	.	.	.			
				〇〇県立〇〇高等学校、常勤講師(欠員補充)(1-△号給)		有 無	自 R6・10・1 至 R7・3・31	.	.	.			
						有 無	自 至	.	.	.			
給		職給料		8割		5割		2.5割		計			
級		号給		年		月		年		月			
注：網掛け部分は給与電算入力事項等(職員課・教育事務所記入欄)													
採用CD	採用年月日	基準学歴	最終学歴	職・格付	発令年月日	昇給経過	採用月	()/12×4	月	=	号給		
		区分	卒業年月	.	.	1月	(標準の場合)		
			年	月	.	級	号給						
記入上の注意		1 太枠内(※印欄)のみ記入すること。 2 採用月日の前日までの職歴を記入すること。											
※		上記のとおり相違ありません。											
令和 7 年 〇 月 〇 日		氏名(自署)		福島 花子		署名する。							
※受験種別・教科		実習助手・工業		※受験番号		〇〇		※(1枚中1枚目)					

大学中退の場合は、年度ごとに取得単位数を ()書きで記入する。

この間は勤務箇所及び職務内容等の欄に記入する。(例:無職(予備校在学))

非常勤講師(月手当)の場合、週当たり勤務日数及び授業担当時間数を記入する。
 (授業を行わない非常勤職員は、職名及び週当たり勤務時間数を記入)

時間講師の場合、週当たり勤務日数、週当たりの勤務時間数及び授業担当時間数を記入する。

常勤講師の場合、級及び号給も記入する。

記入枚数について、〇枚中〇枚目を記入する。

受験種別・受験教科及び受験番号を記入する。

署名する。

1 太枠内(※印欄)のみ記入すること。
 2 採用月日の前日までの職歴を記入すること。

※ 上記のとおり相違ありません。

令和 7 年 〇 月 〇 日 氏名(自署) 福島 花子

※受験種別・教科 実習助手・工業 ※受験番号 〇〇 ※(1枚中1枚目)